



特集

子どもも大人も
あるがままの姿で

Check

TOPIC!

- 令和4年度出雲市社会福祉協議会会長表彰及び感謝
- 令和4年度しまね県民福祉大会における表彰及び感謝
- お知らせ・募集
 - | 地域支え合いフォーラム
 - | 出雲を良くする募金 赤い羽根共同募金
 - | 年忘れ出雲市民余芸大会の中止
 - | 災害義援金・海外救援金
- ご寄附ありがとうございます
- フードドライブ第6弾
- いずりんレポート
 - | 大社小学校・出雲市防災訓練・いきがい助け合いサミット
- もったいないレシピ
 - | “もったいない”プリン

子どもも大人も

あるがままの姿で



伊藤 優子さん

Profile

多伎町のお母さんが中心となり、子ども向けのイベントや自然体験活動を企画・運営する「たきっこ☆キラリ」代表。30年以上続いた「多伎町母親クラブ」を引き継ぐ形で結成し8年目を迎える。

主な活動は、「修行（忍者）遊び」と「キラリの森遊び」。



たきっこ☆キラリ
Facebookはこちら

子どものアイデアは全部「ういねー！」

次世代を担う子どもたちが、地域の人や自然との関わり合いの中であるがままの姿を大切にされる場を作りたいとの思いで活動する伊藤さん。年2回の「修行（忍者）遊び」（コロナ禍は休止）と月1回の「キラリの森遊び」を開催しています。「今の子どもたちを取り巻く環境は変化し、危険・禁止が増えて集団から個の遊びになりがちです。近所に住んでいても、知らない人とは話さないという風潮からあいさつすら交わさないこともあります。私たちの遊びを通して、町で会った時に、あ！あの時のおっちゃん！と会話が弾んだというエピソードを聞くとうれしくなりますね。知らない人が知ってる人になる場になっていきます」と話します。

また、「忍者遊びの中では子どもも大人もみんな対等です。教える・教わるの関係は作らず、遊びの





流れもみんな決めて決めます。子どもたちからのアイディアは否定せず全部「いいね!」。その結果、移動はほふく前進だけ!となることも: (笑)と大人がそのまま受け止め、一緒に楽しむことを大切にしているそうです。活動を続けていくうちに「次も行きたい!」と声掛けをしなくても人が集まる人気イベントになっています。

誰かに認められる経験が自己肯定感を育む

伊藤さんが活動を始めたきっかけは、保育士の研修で知った忍者修行遊びに感銘を受けたことだったそうです。「多伎町の子どもたちにも伝えたい!」と、まずはお子さんと一緒に県外で開催されたイベントに参加。子どものいきいきした姿に「こんな表情になるんだ」と感動し、溢れる「いいね!」の声掛けに自身も認められた気持ちになったそう。「私自身、どこか不安で自信がまま大人になりました。イベントに参加して、人から認められることが自信に

つながるんだ、同じように救われる子がいるかもしれない、と湧き立つ気持ちでとにかくやってみようと思ったんです」と当時を振り返ります。その後、知り合いのお母さんたちに声を掛け、たくさんのアイディアと仲間が生まれ、活動に至りました。「ゼロからのスタートでしたが、動いているうちにいい話やいい人達に出会い、ここまで続けて来られました。同じ思いで活動しているメンバーはもちろん、地域の方が「やっちゃーわー」とキラリの森の草刈りや薪の提供などを助けてくださり本当にありがたいですね。ご厚意には甘えさせていただいています。(笑) できることをできる範囲で、皆さんの手をお借りしながら活動をつなげています」と仲間への感謝を話します。

子どもたちの「個」の力を信じて

たきっこ☆キラリの活動では、子どもたちの主体性や探求心をかき立てるため、つい言いがちな「危ない、汚い、早く、ダメ」などの禁止用語は極力避けているそうです。「今の子どもたちは何も無いところから自分で考えて生み出す機会が減っていると感じます。場を作らないと経験できない時代になっていますよね。私たちはその場をセッティングしていますが、何より大人が子どもを「個」として信じられるかどうか、これが大切です」と伊藤さんは話します。「森で駆け回って転んだら…、包丁で手を切ったら…など心配ごとはたくさんあります。でも、信じて見守ります。実際、遊び終わるとケガをしているのは大人なんですよね。(笑) 子どもたちの力には学ぶことが本当に多いです。意欲的に動く姿はエネルギーに溢れて、表情もいきいきと輝いて…



やってよかった!と感じる瞬間です」と笑顔で語ります。

一方で、コロナ禍によりイベントを中止したり、他団体との交流ができなかったりと思うような活動ができない状況に頭を抱えることも。しかし、飲食をやめ、時間を短縮しての開催や小学校のクラブ活動に関わり新たなつながりを生み出すなど活動の歩みは止めません。「できないことも多いですが、できることを続けて、町内だけでなくたくさんの方や団体とつながって活動の幅を広げていきたいですね」と意欲を語ります。「子どもたちへの想いは人それぞれだと思いますが、自分を認めてもらえる経験を通して、大人になっても誇らしく故郷を語れる子になってもえたらうれしいです」と笑顔で話す伊藤さん。子どもも大人もありのままの姿で安心できる場所としてたきっこ☆キラリは輝き続けます。



令和4年度
出雲市総合社会福祉大会における
出雲市社会福祉協議会会長表彰及び感謝

9月13日に開催した出雲市総合社会福祉大会において、永年にわたり社会福祉に功績のある方々の表彰を行いました。受賞者をご紹介します。(敬称略・順不同)

民生委員児童委員功労者

民生委員、児童委員であって在職期間が8年以上で特に功績顕著な方

氏名	地区
板倉 正	今市
古家 佳子	今市
高野 修	今市
田中 昌子	今市
兒玉 晴子	今市
柳樂 康二	今市
杉原 治	大津
有藤 敏雄	大津
須山 鏡子	塩冶
北野 敏博	塩冶
大草 浩三	塩冶
布野 毅	高松
小池 由季子	高松
吾郷 登	高松
森 節生	四絡
和泉 初枝	四絡
岡 文雄	高浜
佐野 修一	川跡
吉田 裕子	川跡
持田 治子	川跡

亀山 一敏	川跡
藤原 恵美子	川跡
藤原 めぐみ	上津
内田 民子	稗原
伊藤 圭子	稗原
渡部 文子	朝山
伊藤 義巳	朝山
飯塚 清	朝山
原 貞幸	神門
小村 拓男	神西
小泉 政幸	神西
石飛 博雄	長浜
宇京 眞由美	長浜
奥野 栄	平田
生間 厚子	平田
金築 芳樹	平田
小村 明美	平田
原 重利	平田
三代 香澄	国富
大福 利彦	国富
落合 邦雄	檜山
南木 正人	北浜



代表 奥野 栄 様

松村 和枝	伊野
山崎 敏美	伊野
和久理 勉	佐田
安井 裕久	佐田
神田 千俊	佐田
安喰 明光	多伎
藤井 信夫	多伎
原 みゆき	湖陵
福城 育夫	湖陵
高橋 馨子	大社
山崎 喜美	大社
久家 彰	大社
上田 啓二	大社
別所 卓郎	大社
杉谷 和子	大社
園山 幸美	大社
原 正	斐川
多々納 孝二	斐川
榎野 順子	斐川
浅野 静枝	斐川
錦織 慶子	斐川
安食 豊	斐川

氏名	地区	団体名	表彰にたる功績概要
日野 猛	川跡	社会福祉法人創文会ボランティア	高齢者の居場所づくり、演芸ボランティア団体

社会福祉事業協力援助者・団体

社会福祉活動に協力援助し、特に功績顕著な方及び団体



味彩会 大谷 民子 様

社会福祉施設、地区社会福祉協議会及び福祉団体

社会福祉活動が特に優秀な団体

氏名	表彰にたる功績概要
坂田 恵	社会福祉法人島根ライトハウス職員
竹下 尚美	社会福祉法人島根ライトハウス職員
中尾 昭子	社会福祉法人島根ライトハウス職員
鎌田 ひとみ	社会福祉法人島根ライトハウス職員
日野 奈緒	社会福祉法人親和会職員
池田 春美	社会福祉法人親和会職員
飯塚 淳史	社会福祉法人静和会職員
金山 恵美子	社会福祉法人静和会職員
加藤 由美子	社会福祉法人静和会職員
佐伯 八重	社会福祉法人静和会職員
矢田 弘子	社会福祉法人創文会職員
坂本 憲治	社会福祉法人創文会職員
代 由香里	社会福祉法人ひらた福祉会職員
竹下 智代子	社会福祉法人やまゆり職員
原 久美子	社会福祉法人やまゆり職員
古川 恵子	社会福祉法人出雲市社会福祉協議会職員
大賀 幸恵	塩冶地区社会福祉協議会理事



代表 飯塚 淳史 様

社会福祉施設、社会福祉協議会及び福祉団体等役員功労者

社会福祉施設、社会福祉協議会及びその他福祉団体の役員で10年以上、職員で20年以上勤務し、特に功績顕著な方



山崎 慶子	大津	大津地区福祉委員
坂本 あつ子	大津	大津地区福祉委員
青山 明子	大津	大津地区福祉委員
勝部 美保子	大津	大津地区福祉委員
尾原 節子	古志	古志地区協力援助者
森山 玲子	古志	古志地区協力援助者
成相 和男	高松	高松地区福祉委員
江角 亨子	高松	高松地区福祉委員
黒目 和恵	四絡	四絡地区福祉委員
松岡 佳子	高浜	高浜地区協力援助者
森脇 由江	神門	神門地区協力援助者
小村 美紀子	神門	神門地区協力援助者
菅森 一朗	神門	神門地区協力援助者
有田 吉江	直江	直江地区協力援助者
勝部 紀美子	直江	直江地区協力援助者
江角 榮子	直江	直江地区協力援助者
杉原 由利子	直江	直江地区協力援助者
北脇 妙子	直江	直江地区協力援助者
佐々木 藤子	直江	直江地区協力援助者
加藤 澄子	古志	点訳ボランティア出雲市アイアイ会会員
石飛 敏江	荒木	点訳ボランティア出雲市アイアイ会会員
桑原 麻利子	荒木	音訳ボランティアグループ「せせらぎ」会員
伊藤 純子	神西	たすけあいボランティア協力会員
中町サロン (世話人 高橋 照子)	今市	今市地区高齢者サロン団体
一の谷お元気会 (世話人 團山 幸子)	今市	今市地区高齢者サロン団体

感謝

社会福祉活動に多大な功績がある方

氏名	功績概要
原 泰子	障がいのある方とその家族の支援及び失語症友の会「あしたの会」設立等



代表 日野 猛 様

**令和4年度
しまね県民福祉大会における表彰及び感謝**

10月8日に開催されたしまね県民福祉大会において、永年にわたり社会福祉に功績のある方々が表彰及び感謝を受けられました。

島根県知事感謝、島根県社会福祉協議会会長表彰及び感謝、島根県共同募金会会長表彰の出雲市の受賞者をご紹介します。(敬称略・順不同)

島根県知事感謝

各種社会福祉団体役員功労

氏名	役職等
手銭 宣裕	島根県老人福祉施設協議会副会長

民生委員・児童委員功労

氏名	役職等
今岡 祥子	神西地区民生委員児童委員協議会副会長

ボランティア活動功労者・団体

団体名	音訳ボランティアいずも
-----	-------------

島根県社会福祉協議会会長表彰・感謝

民生委員・児童委員功労者

氏名	役職等
高見 睦哉	今市地区民生委員児童委員協議会会長
鹽野 裕士	今市地区民生委員児童委員協議会副会長
鈴木 二郎	今市地区民生委員児童委員協議会副会長
柳樂 忠男	四絡地区民生委員児童委員協議会副会長
高橋 ミドリ	朝山地区民生委員児童委員協議会副会長
福岡 治子	湖陵地区民生委員児童委員協議会副会長

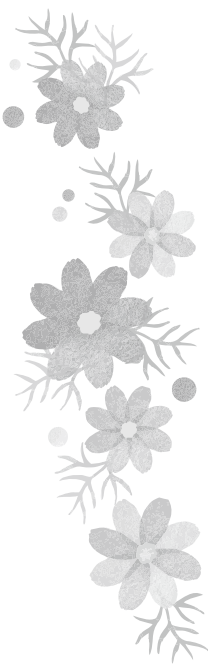
社会福祉施設・社会福祉協議会・団体等役員功労者

氏名	役職等
堀内 早苗	島根県視覚障害者福祉協会理事

島根県共同募金会会長表彰

共同募金運動従事功労者

氏名	大錦 清文
	安食 詔子





地域支え合いフォーラム

地域で支え合いの輪を広げるためのフォーラムを開催します。

日時 12月11日(日) 13:30~16:30 **会場** 斐川文化会館(出雲市斐川町莊原2166-1)

内容 第1部：講演「コロナ禍で考える“支え合い”の地域づくり」
 ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏
 第2部：事例報告「コミュニティを変えるエネルギー・どうやってつくる？」
 伊野やって未来こい！ネット 事務局長 多久和 祥司氏

定員 200人(先着順) **申込方法** 11月25日(金)までに、①氏名、②所属団体等、③電話番号をご記入のうえ、メール

参加費 無料 またはFAXでお申し込みください。

問合せ・申込先 地域福祉課 ☎ 23-3781 FAX 20-7733 Eメール fukushi@izumoshakyo.jp
 ※メールでの問合せ・申込みの際は、件名に「地域支え合いフォーラム」を明記してください。



出雲を良くする募金 赤い羽根共同募金

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。

この募金は、出雲市を良くするための地域の福祉活動に役立てられます。

また、災害時には、被災地を応援するためにも使われます。

共同募金は、福祉団体からの助成申請を受けて審査し、助成計画(目標額)を決定してから募金活動を行う、計画募金です。今年度の助成計画は次のとおりです。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



令和4年度共同募金助成計画(目標額) 37,055,000円 **問合せ先** 出雲市共同募金委員会
 (事務局 出雲市社会福祉協議会総務課)

年忘れ出雲市民余芸大会の中止

今年度の出雲市民余芸大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたします。
 楽しみにしていただいた皆さまにはご理解いただきますようお願いいたします。

災害義援金・海外救援金のお知らせ

名称	送金額(9月27日現在)	受付期間
令和2年7月豪雨災害義援金 ※現在の配分先:熊本県	最終送金累計額 1,222,722円	受付終了
令和4年7月大雨災害義援金 ※現在の配分先:宮城県	これまでの送金額 0円	令和4年10月31日まで
令和4年8月3日からの大雨災害義援金 ※現在の配分先:山形県、新潟県、石川県、福井県、青森県	これまでの送金額 0円	令和5年3月31日まで
バングラデシュ南部避難民救援金	これまでの送金額 6,000円	令和5年3月31日まで
ウクライナ人道危機救援金	これまでの送金額 677,436円	令和5年3月31日まで
2022年パキスタン洪水救援金	これまでの送金額 5,000円	令和4年11月30日まで

問合せ先/日本赤十字社島根県支部出雲市地区(事務局 出雲市社会福祉協議会本所・各支所)



**ご寄附
ありがとうございます**

令和4年7月11日～令和4年9月10日受付分（敬称略）

*出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

一般寄附

<出雲>

福岡町 渡部 俊一

<団体>

ますみ会

有限会社アイディーワーク

香典・玉串料・お花料等返し

()内は故人

<出雲>

今市町 有藤 甫 (和子)

大津町 鐘築 章恵 (秀男)

大津新崎町 増原 誠治 (一子)

古志町 長島 節子 (昭)

古志町 高橋 勝美 (清)

白枝町 兒玉 淳一 (幸子)

松寄下町 馬庭 洋史 (幸子)

浜 町 米山 典夫 (イツ子)

浜 町 神田 達也 (武)

下横町 野村 浩史 (和夫)

大塚町 飯國 総二郎 (昭枝)

中野美保北 青木 寛 (稔敏)

稗原町 白根 忠 (エミ子)

所原町 成相 晴子 (淳一)

所原町 増原 一憲 (芳明)

知井宮町 林 英昭 (恵美子)

西新町 藤村 峻介 (俊夫)

<平田>

平田町 金山 実 (昇)

平田町 大谷 智 (直行)

平田町 井上 宏 (米明)

西平田町 武部 昭 (芳子)

灘分町 木佐 順子 (早苗)

灘分町 勝部 桂子 (百合子)

灘分町 西尾 栄次 (榮)

島村町 玉木 幹夫 (澄子)

島村町 長岡 真吾 (季子)

国富町 勝部 一昭 (光代)

本庄町 勝部 福栄 (幸雄)

万田町 安食 民夫 (ミサ子)

奥宇賀町 高橋 信行 (正子)

東郷町 長岡 智則 (幸子)

東福町 福田 和男 (節郎)

東福町 山根 洋子 (美喜子)

東福町 奥 敏昭 (恵子)

岡田町 長岡 幹雄 (千鶴子)

園 町 松本 英樹 (高好)

鹿園寺町 吾郷 稔 (アサ子)

小境町 山本 純子 (村松 光枝)

小境町 角 小百合 (良知)

小津町 錦織 美樹雄 (サダ)

十六島町 小澤 篤裕 (タツ工)

十六島町 樋野 敬子 (利夫)

塩津町 川谷 秀 (春世)

美保町 佐藤 弘宜 (久義)

三津町 佐藤 幸子 (榮子)

三津町 福田 公二 (幸光)

坂浦町 金折 茂 (タカ工)

坂浦町 三島 陽治 (朝枝)

坂浦町 立石 チヨノ (清儀)

美野町 常松 徹 (トシコ)

<佐田>

須 佐 名原 靖 (仲夫)

須 佐 佐藤 要 (京子)

原 田 板垣 輝之 (清史)

原 田 岡田 伸枝 (俊道)

大 呂 和田 操 (美寿枝)

反 辺 安喰 英男 (郁江)

吉 野 神田 久人 (安枝)

一窪田 影山 偉章 (孝子)

<多伎>

小 田 石飛 守 (富三枝)

小 田 杉谷 浩一 (輝雄)

小 田 石飛 茂美 (博子)

多 岐 澤井 肇 (和子)

久 村 河知 守人 (光子)

<湖陵>

常楽寺 今岡 要二 (弘)

板 津 遠藤 良治 (富貴子)

<大社>

入 南 吉川 増也 (富子)

中荒木 森脇 慶昌 (崇充)

中荒木 園山 信雄 (廣信)

中荒木 青木 茂 (小良)

中荒木 山川 修司 (仁一)

北荒木 高木 弘行 (榮子)

北荒木 森山 信雄 (祐子)

修理免 伊藤 幸夫 (久子)

杵築東 大國 孝之 (智夫)

杵築南 兵庫 秀夫 (修吉)

杵築南 津戸 弘光 (允江)

杵築西 馬庭 悟志 (松代)

杵築西 片岡 啓子 (敏夫)

杵築西 式部 満雄 (シゲ)

杵築北 山崎 進 (政江)

日御碕 落合 麻利 (節子)

日御碕 伊藤 克彦 (譲治)

<斐川>

学 頭 渡部 豪 (進)

莊 原 藤森 観海 (ヒロ子)

莊 原 松尾 和美 (茂)

神 氷 金山 裕貴 (美智恵)

求 院 矢野 亨 (藤子)

併 川 白枝 淳 (清)

名 島 石川 和子 (正男)

鳥 井 佐々木 和美 (小村 仁)

上直江 西 篤志 (輝夫)

上直江 原 修一 (房子)

直 江 神門 本之 (利夫)

直 江 元井 英子 (武久)

直 江 伊藤 富夫 (キミ子)

福 富 遠藤 正 (榮吉)

今在家 嘉藤 逸子 (富晴)

沖 洲 福間 清巳 (昭男)

中 洲 錦織 哲也 (武子)

中 州 錦織 利夫 (秀雄)

三分市 井上 浩 (玲子)

坂 田 榎谷 茂美 (シゲ子)

坂 田 飯塚 勇 (サキ工)

坂 田 曾田 悟 (良吉)

<市外>

岡山市 樋野 英治 (喜久)

匿名

5件

**皆さまからのご寄附は、市内で福祉活動を行う団体及び各地区社会福祉協議会への
助成などに使わせていただいております。**

- 出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】 出雲市にお住まいの方が本会へ 50,000 円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

[1] 所得税 (50,000円 - 2,000円) × 40% = 19,200円

[2] 住民税 (50,000円 - 2,000円) × 10% = 4,800円

[1] + [2] = 24,000円・・・税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

- 「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。



フードドライブ第6弾

～生活にお困りの方を「食」で応援～

食品・日用品のご寄附にご協力ください!

- 募集期間** 令和4年11月1日(火)～12月16日(金)
※土・日・祝日除く
※野菜は12月15日(木)から受付可
- 受付時間** 9:00～16:00
- 受付場所** 本所・各支所
- 備考**
 - 缶詰、インスタント食品、レトルト食品等
 - 常温保存で未開封のもの、賞味期限の記載があり2か月以上のもの
 - トイレットペーパー等の日用品

新型コロナウイルス等の影響で生活にお困りの方へ、市民の皆さまから寄せられた食品等をお渡しします。

- 日時** 令和4年12月17日(土) 13:30～16:00
- 申込方法** 本会ホームページから申し込みいただくか、下記の申込み先へご連絡ください。



申込・問合せ先 フードドライブ担当 ☎ 23-3781

出雲市の支え合いの取組を全国へ発信!



いきがい助け合いサミット(東京)

本会職員が出雲市での支え合い活動の担い手発掘について発表しました。

被災者支援への備えを



出雲市防災訓練

9月1日「防災の日」に合わせ災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施しました。

障がいを知る「あいサポキッズ」



大社小学校

3年生の子どもたちと体験を通じ視覚障がいについて学びました。



いずみんレポート

会費や共募を活用!



秋になり涼しくなってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今回ご紹介するレシピのテーマは、「余りがちな食材を使い切る」です。

正月の鏡餅や端午の節句の笹巻きなど、季節のイベントで大活躍の「きなこ」や、子どものおやつやお供え物として定番の「バナナ」ですが、皆さまのご家庭に眠っていませんか? まだ食べられるのに廃棄される食品のことを「フードロス」と言います。これを無くすように行動することは、SDGsにつながります!

今回は、簡単アレンジでお手軽プリンに変身させましょう。ゼラチンなど使わなくても出来ます。買ったものは残さず食べることができるので、心も冷蔵庫のスペースも軽くなりましょう。

持続可能な開発目標

SDGsで社会にやさしい
もったいない
レシピ

残りものの食材で
もったいないプリン

- 材料 (2人分)**
- バナナ/2本
 - きなこ/スプーン2杯(お好みの量で)
 - 牛乳/コップ1杯(200cc)

作り方

- ①バナナを皮から取り出し、ラップに包んで電子レンジに入れ、600Wで2分間、トロトロになるまで温めます。
- ②ボウルに①を入れてスプーンなどでよく練り、きなこ、牛乳を加えてよく混ぜます。(ミキサーで行うとプルプルの食感になります)
- ③お好みのカップに流し入れ、冷やしたらできあがり!



島根県立大学看護学健康栄養学科の協力で作成しました。



島根県立大学
多々納浩助教



出雲市社会福祉協議会連絡先

〈窓口対応〉平日8:30～17:15

本所 ☎ 693-0001 出雲市今市町543

✉ fukushi@izumoshakyo.jp ホームページ <https://www.izumoshakyo.jp/>

本所 ☎ 23-3781 FAX20-7733

平田支所 ☎ 63-4624 FAX63-5011 佐田支所 ☎ 84-0131 FAX84-9034

多伎支所 ☎ 86-2331 FAX86-2351

湖陵支所 ☎ 43-2310 FAX43-2226 大社支所 ☎ 53-3196 FAX53-6053

斐川支所 ☎ 73-9330 FAX72-4068

いずも権利擁護センター ☎ 25-0955 FAX20-7733 生活支援課 ☎ 23-3790 FAX20-7733



高齢者あんしん支援センター

出雲 ☎ 25-0707 FAX25-0901

平田 ☎ 63-8200 FAX63-5011 佐田 ☎ 84-0019 FAX84-9034

多伎 ☎ 86-7122 FAX86-2351

湖陵 ☎ 43-7611 FAX43-2226 大社 ☎ 53-3232 FAX53-6053

斐川 ☎ 73-9125 FAX72-4068

